

7月定例記者会見 会見録（概要）

平成29年7月6日 11時00分～

## 質疑応答

### ■運動公園用地返還交渉について

**記者** 運動公園用地返還交渉は、市長が公約に掲げ、これまで取り組んできたと思うが、改めて、「返還ができない」と正式に決まったことへの所感は。

**市長** 残念な結果である、というのが所感です。(市長選)出馬会見のときから、当然難しい交渉になると分かっていた。当時、他の候補者の方たちは、あそこにもう一度運動公園のようなものを作ると掲げていたため、後戻りはさせないという意志を持って公約にも掲げましたし、交渉にも臨みました。しかし、今回の返事があり、結果として受け止めて、次のステップに進んでいきたいと思っています。

**記者** 議員や市民の声を聞きながら、この土地の扱いについて検討する、と述べたが、いつ頃までにあの土地を、処分などといった扱いについて決定したいと考えているのか。

**市長** 申し上げられるのは、できるだけ早くしなければならない、ということです。ただ、複数のステップを踏まなければいけません。

簡単に言うと、市の土地である以上、まず公共施設用地としての利用可能性を検討しなくてはなりません。また、公共施設としない場合に、土地処分を検討します。土地処分の際に現状のまま売却するのか、造成して分譲するのかなどを検討して、売却に当たっての公募条件を設定する必要があります。その上で土地利用方針を決定します。

その土地利用方針について、上郷高校でも行っていましたが、市場調査、サウンディングの調査を検討して、土地需要の把握を実施しないといけないと考えております。必要に応じてその土地利用方針に従って、用途地域を変えるか、文教地区、地区計画、都市計画をどういう風にするかを決めなくてはなりません。売却する際には、公募条件によって価格競争にするか、提案型のプロポーザルにするかなどの審査が想定されますが、その上で売却・開発が進んでいくことになるので、今この時点でいつまで、というのを決めることはできないと考えています。

### ■つくば駅の北西側の土地利用について

**記者** つくば駅の北側の土地について、要望に添って使われた、ということで満足しているという話があったが、改めて要望が受け入れられて商業施設ができるという期待感や市長としての考えをもう一言。

**市長** つくば駅前には西武の撤退に象徴されるよう、非常に市民の皆様は関心をお持ちでしたし、御心配もされていた中で、私が強く危惧していたのは、あそこにもうひとつマンションが建つようなことになってしまったら、今後数十年のまちづくりの方向性が非常に危ういな、という危機感を持っていました。かなり強く要望活動や交渉をしてきましたので、

その要望が受け入れられ、あまり高層ではなく、しかも住居系ではない、業務系・商業系の施設になったことは、今後、西武の跡地の問題、周辺の公務員宿舎の問題にも必ずプラスの方向に影響を与えていると思います。

**記者** 5階建ての商業施設ということだが、いつ頃までに建設される予定か。

**市長** 詳細は事業者にお問合せいただければ、と思います。申し訳ございません。

**記者** 都市計画の問題で、つくば駅と研究学園駅の周辺を比較すると、(つくば駅周辺は)お店の場所の問題で立体駐車中心なので、駐車場の使い勝手は研究学園駅に比べて落ちると思う。(つくば駅周辺にできる)商業施設の駐車場について、どのように考えているのか。

**市長** 御指摘のように、つくば駅周辺の駐車場の環境は、とりわけ西武の駐車場に使われていた、立体駐車場の使い勝手は悪いと思います。幅が狭いですし、立体駐車場としての不便さは、多くの市民の皆様が西武に行かない理由の一つとして指摘をされていました。

今回の建物についても、駐車場の問題が付いてくると認識しています。立体駐車場自体が使い勝手悪いかというと、そうではなく、例えばイーアスの立体駐車場はそこまで不便ではないと、私自身使っていて感じます。どの程度スペースを取るか、どういう動線を計画するか、そういったことが重要になると思っています。

ただ、つくば駅前の一等地を利用しているという点から考えれば、やはり平面の駐車場があるというより、商業施設などが多い方が、街はにぎわうと考えています。

## ■東西大通りについて

**記者** つくば市の駐車面の面で非常に不便なのは、メインの道路から直接お店やオフィスに入れず、後ろ側のもう一本裏側の道を入れて、そこから建物の駐車場へ入るという、非常に特殊な構造になっているが、こうした作りでどういう考えを持っているか。

**市長** 東西の大通りなどの話と違ってよろしいですか。

**記者** はい。

**市長** つくばの都市計画の一つの形でしたし、確かに不便さはありますけれども、あの大通りから直接は入れる形にするということは、多くの(交通上の)混乱を招くと思います。もちろんメリット・デメリットはありますが、安全性の観点からも、今の形状はある程度維持していくべきだと思っています。

<注>東西大通りなどについては、隣接する一部の施設を除き、幹線道路の円滑な交通を妨げないように、道路沿いの施設に車が直接入ることはできず、脇道より進入するような構造になっています。

## ■大規模事業の進め方について

**記者** 要望に添えないという返答が来たURの総合運動公園用地の件で、先ほどの話で大規模事業に関する指針の中に、決定を踏まえて進めたいという話があったが、時期は来年度以降になると思うが、どうか。

**市長** 大規模事業を進めていく際、当然その指針に従うこととなりますが、(URの総合運動公園用地の件は)並行的に進んでいくだろう、と思っております。

**記者** 大規模事業の事業方針を踏まえて来年度以降決める、という風に決まっているわけではないのか。

**市長** 何か大規模事業が動き出す際には、大規模事業の方針はできていると思います。

ただ、それが完成してからその利用可能性の検討に入るかということ、(URの総合運動公園用地は)年間の利子だけで3,000万円以上かかっている土地ですので、今税金が無駄に使われていることを考えると、できるだけ早く取り組む必要があると思っています。

**記者** 今回の総合運動公園用地の問題というのは、決定過程があまり明らかにされてこなかった部分があると思う。今後、公共施設として利用するのか、売却するのかの二つに分けられると思うが、どういうプロセスを考えているのか。

**市長** まず市内で公共施設としてニーズがあるかの調査をします。しかし、各課で作りたいものや、必要なものがなければ、売却になります。これはまだ始まっていないため、今の段階では分からない状態です。

**記者** 竹園一丁目、URの昔の庁舎の土地について、URが落札業者を決定し、マンションを建てることについてどう思っているか。

**市長** 非常に残念です。私も横浜まで行って、要望書を直接渡しましたが、結果としては、かなりの高層マンションになってしまうようで、非常に残念です。ただ、URへ市から出していた要望を、URが事業者にきちんと共有するという約束をいただいておりますし、実際様々な担当課と施工業者とで打ち合わせをするので、そういう中で再度、私どもの要望を少しでも反映できるような形で設計を進めてもらいたいと考えています。

#### ■まちづくりアドバイザーに任命した山崎氏について

**記者** 今回、まちづくりアドバイザーとして任命した山崎氏に、市長はどういうきっかけで知り合い、どういうことを期待しているのか。1975年の何月生まれか。アメリカ在住なのか、日本に住んでいるのか。

**市長** 3,4年前、私がポートランドに視察に行ったとき、街を様々紹介してくれた方です。今ポートランドはアメリカで一番住みたい街で、世界中から視察に来ています。その中で、様々なポートランドの開発に関わってきた方で、いろいろ案内をしていただき、たまたま日本人で、しかも茨城県勝田出身というご縁がありました。彼が書いた本は非常に日本でも売れましたが、大変いい視点が入ってまして、そういった知見を生かしてほしい、今回依頼しました。彼はアメリカ在住で、そう遠くない将来日本に帰ってくると思います。それがいつかは分かりません。山崎氏は1975年の6月6日生まれだそうです。

#### ■茨城県知事選について

**記者** 茨城県知事選に今回3人立候補しているが、市長としてどなたが知事にふさわしい

と考えているのか。

**市長** 先日の記者会見で申し上げましたように、私は現職の応援をします。市長会でも推薦しており、私もそこに名を連ねた一人で、この24年間で茨城はかなりいい方向に変化したと思っています。県民所得は千葉や埼玉よりも高いですし、企業の立地も4年連続日本一というのは、数字として非常に評価されるものです。魅力度ランキングというような、ややコンサルめいたものもありますが、ほかに例えば、他の調査では県民の愛着度が8割を越えていますし、そういった意味で、肥沃な茨城県を、リーダーシップを持ってまとめてくださっています。

さらに、県と市町村との関係が非常にいいと思っています。市政を運営する上で、県と互いに密に話ができるかという関係性は非常に重要です。この意味で知事はこの24年間の中でつくばの細かいところまで御存じですので、いろいろなことが非常に話しやすく、つくば市の発展に非常に力をいただいておりますので、私は現職を全力で応援するという思いであります。

**記者** 橋本知事には多選批判というのがある上、(五十嵐市長は)脱原発・再稼働に反対するという立場だと私は考えている。それを掲げている鶴田氏という立候補がいるが、こちらを支援するという考えはないのか。

**市長** 多選に批判はあると思いますけれども、長い目線で茨城の県政について捉えると、橋本知事以前は、かなり政党の力が強く、権利・利害などの関係で様々なことがあったと認識しております。その県政を橋本知事は変え、本来のあるべき二元代表制の形にされてきたと感じます。今回、他の立候補の方がどんな主張をしているかは、まだ把握しておりませんが、もし前の形に戻ってしまうようなことにはなってはいけないと思っています。

鶴田氏もつくばの方で、私も存じ上げております。東海第二については再稼働すべきではない(私も)考えておりますし、当然知事もこの原発の問題というのは把握されていると思います。ただ、県知事選はシングルイシューでやる選挙ではなくで、やはり多様な県政の課題をどのような具体策をもって良くしていくか、ということだと思います。私の脱原発の思いは変わりませんが、知事の行政手腕は今の茨城に必要なだろうと考えております。

## ■松見池のコイ変死について

**記者** 担当部局に聞くが、先ほどのコイの話で、チョウという寄生虫でどのような死に方をしたのか。また、例えば駆除剤をまいたなど対策はあるか。

**公園・施設課** 寄生虫はチョウというもので、コイのうろこに寄生虫が付き、だんだん衰弱していくというような、ウオジラミの一種です。コイ、フナ、ウナギにも見られるようです。対策として用いるのは、水産試験場から伺った薬剤である水産用のマゾテンです。マゾテンが効果あると言うことで、今日の午後から水量に見合った薬剤を池の中に散布したいと考えております。

**記者** これを散布することで駆除できる、ということか。

**公園・施設課** はい。水産試験場の話ではそういうことです。散布した24時間後、チョウというシラミが死ぬだろう、ということです。ただし、卵もありますから、2〜3週間おいてもう一度散布すると死滅し、かなり効果がある、ということで、また2〜3週間後に散布を予定しております。

**記者** 今生き残っているコイはいるのか。

**公園・施設課** はい。現在もおります。どれだけいるかはまだ把握はしておりませんが、池の中にはコイやカメなどが生存しております。